

令和2年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 図書館

1. 基本情報

1501

施設名	伊丹市立図書館南分館		
施設の設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標：未来を担う人が育つまち 施策目標：ライフステージごとに学び活躍する人づくり 主要施策：生涯にわたる主体的な学習の支援		
指定管理者の名称	公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 31 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数・貸出冊数 (単位： 人・冊)	
	指標の意味	年間の来館者数・延べ貸出冊数	
	今年度の目標値	41,000人・97,000冊	今年度の実績値 7,622人、41,293冊

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H28	H29	H30	R元	R2 (上期)	R2 (通期)
	来館者数 (人)		153,179	146,779	148,987	148,260	137,199	7,147
講座開催回数(回)		36	121	127	136	118	0	2
講座参加者数(人)		1,071	2,190	2,210	2,219	1,451	0	185
貸出冊数		259,651	362,383	366,396	374,423	352,655	36,744	41,293

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

<単位:千円>

		区分	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	3カ年平均	
指定管理者の収支	収入	使用料収入	0	0	0	0	
		事業収入	0	0	0	0	
		その他	19	17	616	217	
		指定管理委託料	33,154	34,188	34,464	33,935	
		①合計	33,173	34,205	35,080	34,153	
	支出	維持管理	光熱水費	0	0	0	0
			清掃等委託料	0	0	0	0
			土地建物賃料	0	0	0	0
			修繕料	195	150	249	198
		運営	人件費	31,224	33,509	32,112	32,282
事業等経費			1,499	1,517	1,445	1,487	
その他			0	0	0	0	
	指定管理納付金	0	0	0	0		
	②合計	32,918	35,176	33,806	33,967		
	純収支 (①-②)	255	△ 971	1,274	186		

		H27	H28	H29	H30	R元	R2
施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ <単位:千円>	市の収入	0	0	0	0	0	0
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	41,248	38,862	39,669	40,154	41,188	41,464
	(内、指定管理委託料)	34,248	31,862	32,669	33,154	34,188	34,464
	実質経費 (歳出-歳入)	41,248	38,862	39,669	40,154	41,188	41,464

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	施設・設備機器の各所に老朽化による劣化が見られるが、利用者の安全性と利便性、快適性、費用対効果などを考慮し、ラストホールとも連携しながら対応している。7月より改修工事に入り、施設・設備の改修内容について市やラストホールと協議しながら進めている。	B	施設・設備機器の老朽化がみられるが、利用者の利便性が損なわないよう配慮し取り組んでいる。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	図書館運営に必要な資格と経験、実績を積んだ職員を配置し、研修にも積極的に参加している。また防火管理者資格取得も随時行っている。	B	職員を適切に配置している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	財団全体の連絡網を整備し、ラストホール全館で連携して定期的に避難訓練を行っている。改修工事期間中はことば蔵の避難訓練に参加した。	B	仕様書に基づき適正に連絡体制を整えている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	新型コロナウイルス対策や改修工事による休館のため取り組みは限られるが、ブログによる情報発信や出張図書館などサービス向上に努めている。利用者からの意見やクレームについては関係部局と協議連携し迅速に対応。	B	改修工事及びコロナ禍ではあったが、ブログでの情報発信、出張貸し出しなど、開館後も見据えた利用者への取り組みを行っている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	コロナ対策や改修工事による休館のため縮小や変更を余儀なくされているが、臨機応変に対応している。	B	コロナウイルス感染症対策を取りながら対応している。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	伊丹市立図書館セキュリティ運用基準を遵守。コロナ対策や改修工事休館中にはブログによる動画配信、イベント情報発信などを積極的に行っている。	B	仕様書に基づき適正に業務を実施している。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	予算の範囲内で適正に行っている。	B	適正に経理処理を行っている。
経理処理は、適切に行っているか。		B	B			

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	休館中の南センターでの臨時貸出や展示など利用者サービスを継続しリニューアルオープンに向けて取り組んだ。今後も引き続き、コロナウイルス感染症対策を万全に取りながら魅力ある図書館運営に努めて頂きたい。
総合評価 B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和2年 月 日～令和2年 月 日

実施の有無	主な回答	主な対応
無し	上期は新型コロナウイルス感染症予防のため、下期は施設改修工事期間であったため実施しておりません。	指定管理者と確認済み
回答者数		
0		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置